

9.1 関東大震災 90周年

関東大震災で虐殺された 中国人労働者を追悼する集い

日時：2013年9月8日（日）1時～5時

（開場 12：45） 追悼会 記念講演：「王希天事件の発見」田原 洋さん
リレートーク（陳鉄健、凌星光、指宿昭一、鳥井一平、西崎雅夫、林伯耀の皆さん：予定）

会場：韓国YMCA 9階ホール（JR 総武線「水道橋駅」東口下車歩6分）

主催：関東大震災中国人受難者を追悼する会（☎080-6595-9360） 参加費：1000円

関東大震災で虐殺された中国人労働者を追悼する集い よびかけ人（あいうえお順）
内海愛子（恵泉女学園大学名誉教授） 梶村太郎（在ベルリン ジャーナリスト） 加瀬純二（ふれあい江東
ユニオン事務局長） 川見一仁（中国人強制連行を考える会事務局長） 小林祥二（カトリック潮見教会・司祭）
佐々木幸孝（弁護士 亀戸法律事務所） 高橋哲郎（元中帰連事務局長） 田中 宏（一橋大学名誉教授）
段 躍中（日本僑報社編集長） 山内小夜子（真宗大谷派僧侶） 凌 星光（社団法人日中科学技術文化センター
一理事長） 林 伯耀（旅日華僑中日交流促進会代表）

今年には関東大震災が起きてから90周年となります。1923年9月の関東大震災に際し東京・神奈川近辺で、氏名が判明しているだけでも600名余の中国人が軍隊・警察・民衆によって虐殺されました。留学生の王希天氏は、中国人労働者の被害調査と救援にあたるなか、9月12日野戦重砲兵第7連隊将校により密殺されています。当時の中国政府は、虐殺事件の真相究明、加害犯人の厳重処罰と公表、遺族への補償、日本に暮らす中国人の安全保証を要求しました。日本政府は、内々には賠償金の支払を決定しながら、中国政府には捏造した被害者数を伝え、事実の隠ぺいを徹底し日本社会の記憶を抹殺してきました。

困難な状況下、関東大震災70周年、80周年には中国人犠牲者と結ぶ取組みが重ねられ、2003年8月に日弁連人権擁護委員会は「関東大震災人権救済申立事件調査報告書」を小泉首相に提出しています。

90年を経た事実を今日の道しるべとするため、いまだ知られざる関東大震災下での中国人虐殺の歴史を発信し犠牲者を追悼する集いを計画しました。王希天氏のご遺族を迎え、日本と中国の明日へともに歩んでいきましょう。皆さまのご参加をお待ちしています。

（参考図書：田原洋『関東大震災と王希天事件』三一書房、仁木ふみ子『震災下の中国人虐殺—中国人労働者と王希天はなぜ殺されたか』青木書店、今井清一監修・仁木ふみ子編『史料集・関東大震災下の中国人虐殺事件』明石書店、仁木ふみ子『関東大震災 中国人大虐殺』岩波ブックレット No.217）